

クーリングシステムファイラー

-使用方法-

品番 RT-919H



セット内容

本体	1 個
キャップアダプター	5 個
冷却水注入用ホース	1 本
エア排出用ホース	1 本
(コック付き)	

吸い上げ部



冷却水注入用ホース



エア排出用ホース



本体

汎用アダプター



キャップアダプター

1. エンジン及びラジエターが熱い時は、ラジエターキャップを絶対に開けないでください。

冷却水をドレンコック等より完全に抜いてからご使用ください。



アダプターの選択



アダプターの取り付け



ラジエターへの取り付け

エンジンが冷えた状態で車輛のラジエターキャップを外し車両のラジエターキャップ取付け部の内径に密着するキャップアダプターを選んで、本体に取り付けて下さい。
次に、本体をキャップ取付け部に差し込んでセットして金色部分を締め込み、キャップアダプターをしっかりと密着させてください。
バケツ等に注入するクーラント液を準備してください。

* リザーバータンクへのホース部よりエアを吸い込む時がありますので
ホースピンチャー等で押さえるか汎用アダプターをご使用ください。

使用時は、エアコンプレッサーのエア圧を $0.6\sim 0.8\text{MPa}$ ($6\sim 8\text{K g f/cm}^2$) でご使用ください。
エア圧が高いとラジエターを破損する恐れがあります。

2. 冷却システム内の真空引き

本体のcockを全て閉じた状態で

本体cock 2に、エアー排出用ホースを接続し、cock 1にエアーコンプレッサーからのエアーホースを接続してください。

cock 3には冷却水注入用ホースを接続し、吸い上げ部分を注入するクーラント液に完全に浸してください。

注入用ホース内のエアー抜きをする為にcock 2及びcock 3及びcock 1を開きクーラント液が本体まで吸い上がるまでcock 3を開いて、吸い上がるとcock 3を閉じてください。

冷却システム内の真空引き作業

本体のcock 3を閉じた状態で

cock 1およびcock 2を開き、負圧計が止まるまで、エアーを流してください。

負圧計の針がぶれて真空状態にならない時は、本体接続部がしっかり密着しているか確認してください。車輻のラジエターのドレン及びホース等が外れていないか確認してください。冷却システムにクーラントの漏れがある時も真空になりません。

真空引きを長時間行うとラジエターを破損する恐れがありますので

長時間の真空引きを行う際は、漏れや破損が無いか十分に注意して作業を行って下さい。

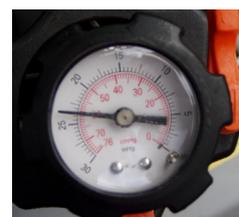


真空引き時

cock 1 : 開

cock 2 : 開

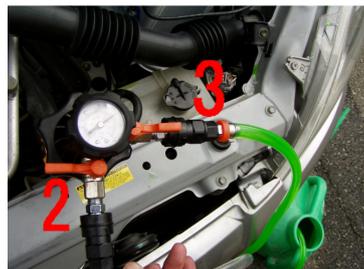
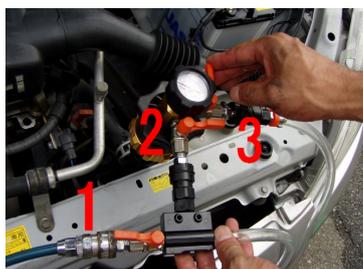
cock 3 : 閉



3. クーラント液の注入

負圧計が止まったら、再度吸い上げ部分が注入するクーラント液に

完全に浸かっていることを確認し、cock 2を閉めてから、cock 3を開けてください。



クーラント注入時

cock 1 : 開

cock 2 : 閉

cock 3 : 開

※ クーラント注入中に吸い上げ部分がクーラント液に浸かっているとシステム内にエアーが混入します。エアーが混入した場合は、作業2からやり直して下さい。

4. メーターが正圧になったら、クーラントの注入は完了です。

cock 3、cock 1を閉めてから、本体をラジエターから取り外して下さい。

※本体を取り外した際にラジエターキャップ口まで冷却水が達していない場合と

エンジンを掛け、サーモスタットが開くまでアイドルリングしラジエターキャップ口まで冷却水が達していない場合は適量を補充してラジエターキャップを閉めて下さい。